様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ア	交流基盤としてのウチナーネットワークの継承・発展	施 策	①国内外のウチナーンチュとの絶え間ない交流
			施策の小項目名	○ウチナーネットワークの継承・発展
主な取組	ウチナーネットワークの強化推進		対応する成果指標	「世界のウチナーネットワーク」サイトのアクセス数（累計）
施策の方向	・国内外県人会や市町村、民間交流団体等との連携の下、10月30日の「世界のウチナーンチュの日」にちなんで世界各地で実施する沖縄に関する様々な取組等を通じて世界のウチナーネットワークの強化を図るとともに、県民や県系人等に対し、移住・移民の経緯や困難を克服してきた歴史や沖縄の文化等に対する理解促進を図りつつ、次世代の担い手の育成や県系人のルーツ調査など、世界のウチナーネットワークの継承・発展に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画 活動指標（アウトプット） R4	R5	R6
10月30日「世界のウチナーンチュの日」を世界中で沖縄の風土や伝統文化等に想いを馳せる象徴的な日として定着させるさまざまな取組を実施する。	県	「第7回世界のウチナーンチュ大会」開催	沖縄の移民の歴史や世界に広がるウチナーネットワークについて学ぶ出前講座の実施	
		国内外大会参加者数（オンラインを含む）	出前講座受講者数（累計）	
		8,000人	500人	500人（1,000人）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課　【　098-866-2479　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	世界のウチナーネットワーク強化推進事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	39,275	33,357

予算事業名	世界のウチナーネットワーク強化推進事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	35,994

令和6年度活動内容

世界のウチナーンチュの日の広報・イベントの実施、海外県人会への芸能指導、学校等での出前講座等実施した。

令和7年度活動計画

世界のウチナーンチュの日の広報・イベントの実施、海外県人会への芸能指導、学校等での出前講座等実施する。

活動指標名	国内外大会参加者数（オンラインを含む）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	2,113人	1,349人	860人（4,322人）	500人（1,000人）	100.0%	順調	小学校、中学校、高校等において出前講座を20件実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

ほかの事業とも連携をすることで目標人数を達成できた。

（2）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
ほかの事業との連携を強化し、世界のウチナーンチュと沖縄のウチナーンチュがつながれる機会を増やす取り組みを行う。	沖縄文化芸能指導者によるオンライン指導などオンラインを活用した交流を実施した。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	10月30日の「世界のウチナーンチュの日」の認知度が低い状況のため、更なる認知度の向上に向け、周知策の強化に取り組む余地がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	10月30日の「世界のウチナーンチュの日」が定着するよう、啓発イベント、啓発パネル展、映像制作・メディア発信を行う。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ア	交流基盤としてのウチナーネットワークの継承・発展	施 策	①国内外のウチナーンチュとの絶え間ない交流
			施策の小項目名	○ウチナーネットワークの継承・発展
主な取組	ウチナージュニアスタディー事業		対応する成果指標	「世界のウチナーネットワーク」サイトのアクセス数（累計）
施策の方向	・国内外県人会や市町村、民間交流団体等との連携の下、10月30日の「世界のウチナーンチュの日」にちなんで世界各地で実施する沖縄に関する様々な取組等を通じて世界のウチナーネットワークの強化を図るとともに、県民や県系人等に対し、移住・移民の経緯や困難を克服してきた歴史や沖縄の文化等に対する理解促進を図りつつ、次世代の担い手の育成や県系人のルーツ調査など、世界のウチナーネットワークの継承・発展に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
海外県系人子弟を沖縄県に招待し、県内外の生徒と沖縄の自然や文化、歴史などの交流体験プログラムを実施することで、将来のウチナーネットワークの構築を図る。	県	県内に国内・海外県系人子弟を招待し、交流事業の継続実施		
		交流人数（累計）		
		33人	33人（66人）	33人（99人）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課　【　098-866-2479　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	ウチナージュニアスタディー事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	委託	15,043	15,442

予算事業名	次世代ウチナーネットワーク育成事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	15,700

令和6年度活動内容

海外県系人子弟（中学・高校生）１１名、県内の中学・高校生16名、県外高校生1名参加のもと実施した。

令和7年度活動計画

海外県系人子弟、県内の中学・高校生、県外高校生の参加を募り、引き続き沖縄の歴史や文化等を学習するプログラムを実施する。

活動指標名	交流人数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		海外県系人子弟、県内の中学・高校生、県外高校生の参加を募り、引き続き沖縄の歴史や文化等を学習するプログラムを実施した。
	33人	29人（62人）	28人（90人）	33人（99人）	84.8%	概ね順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和５年度以降、対面実施が可能となり、沖縄の歴史や文化等を学習するプログラムを継続的に実施することができたことに加え、事業終了後もSNSを活用した参加者同士の交流が活発となっていることから順調に進捗しているものと考える。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○昨年度から対面実施が再開し、今後は、社会情勢に応じて、対面とオンラインのハイブリットを活用することにより、より効果的な事業を進めていく。	対面型とオンラインのハイブリットで事業を行うことで、海外・県外の参加者も分け隔てなく交流ができた。また、交流後のSNSの活用などにより、持続的なネットワーク構築が実現してきている。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	令和６年度は青年リーダーの応募が無かったことから、令和７年度は本事業の認知及び周知を拡大する必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	募集チラシの作成や広報誌への掲載などを行い、本事業案内が広く県民（主に学生）に行き届くように工夫する。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ア	交流基盤としてのウチナーネットワークの継承・発展	施 策	①国内外のウチナーンチュとの絶え間ない交流
			施策の小項目名	○ウチナーネットワークの継承・発展
主な取組	国内外の県人会との連携		対応する成果指標	「世界のウチナーネットワーク」サイトのアクセス数（累計）
施策の方向	・国内外県人会や市町村、民間交流団体等との連携の下、10月30日の「世界のウチナーンチュの日」にちなんで世界各地で実施する沖縄に関する様々な取組等を通じて世界のウチナーネットワークの強化を図るとともに、県民や県系人等に対し、移住・移民の経緯や困難を克服してきた歴史や沖縄の文化等に対する理解促進を図りつつ、次世代の担い手の育成や県系人のルーツ調査など、世界のウチナーネットワークの継承・発展に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
県人会式典等の参加、関係機関の訪問・交流し、世界のウチナーネットワーク継承や次世代の担い手の育成に取り組む。	県	国内外県人会式典等への参加や県人会との情報交換を通したネットワークの形成		
		式典等への県の参加件数（累計）		
		2件	2件（4件）	2件（6件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課　【　098-866-2479　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	海外移住記念事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	直接実施	8,900	9,125

予算事業名	海外移住記念事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	直接実施	4,212

令和6年度活動内容	令和7年度活動計画
ボリビアとハワイの周年記念イベントへの参加	カナダとハワイの周年記念イベントへの参加

活動指標名	式典等への県の参加件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		ボリビアとハワイの周年記念事業への参加
	0件	6件（６件）	2件（8件）	２件（６件）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

ボリビアとハワイの周年記念事業への参加を通して、国内および海外県人会と母県沖縄とのつながりを再確認するとともに、ウチナーネットワークの強化が図られた。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
各国の入植、県人会設立周年式典などの節目の年をとらえて県三役など、県関係者が当該国を訪問し、母県沖縄と海外県人会とのつながりを強化する。県人会など各団体の取り組みを促進する。	ボリビアとハワイの周年記念事業への参加を通して、国内および海外県人会と母県沖縄とのつながりを再確認するとともに、ウチナーネットワークの強化が図られた。

様式１（主な取組）

3　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	県人会の要望を踏まえ、記念式典を併せた各種交流を検討する必要がある。

4　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	カナダ移民125周年記念式典の前に、カナダへ沖縄文化芸能指導者を派遣し、県人会など各団体の取り組みを促進する。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ア	交流基盤としてのウチナーネットワークの継承・発展	施 策	①国内外のウチナーンチュとの絶え間ない交流
			施策の小項目名	○育成人材等の相互交流、情報発信等
主な取組	次世代ウチナーネットワーク継承基盤構築事業（育成人材等を対象とする相互交流）		対応する成果指標	「世界のウチナーネットワーク」サイトのアクセス数（累計）
施策の方向	・国内外に広がるウチナーネットワークを次世代へ安定的に継承するため、JICA等と連携し、育成人材等を対象とするオンラインを活用した相互交流やWEB・SNS等による情報発信、県系人のルーツ調査をはじめとする歴史継承等を多言語で担うプラットフォームの構築に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
海外県系子弟と沖縄県の青少年が互いに交流、研鑽する場を設けることにより、世界のウチナーネットワークを担う次世代を育成する。	県	県系子弟等留学事業OB・OG等を対象とするオンライン等を活用した相互交流		
		参加者数（累計）と参加国・地域数		
		200人、6ヵ国・地域	200人（400人）、6ヵ国・地域	200人（600人）、6ヵ国・地域

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課　【　098-866-2479　】	関連URL	―

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	次世代ウチナーネットワーク育成事業※本事業は細事業の１つ		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	委託	71,392	81,243

予算事業名	次世代ウチナーネットワーク継承基盤構築事業（ウチナーネットワークコンシェルジュ運営業務）	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	10,329

令和6年度活動内容	令和7年度活動計画
ウチナーンチュ等子弟留学生の受入、県内と海外の若者どうしの交流、県内と国内の若者どうしの交流等を実施した。	ウチナーンチュ等子弟留学生の受入、県内と海外の若者どうしの交流、県内と国内の若者どうしの交流等を実施する。

活動指標名	参加者数（累計）と参加国・地域数		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	24,000人以上	3,000人以上（27,000人以上）	3,000人以上（30,000人以上）	200人（600人）	100.0%	順調	韓国、ペルー、台湾、ブラジル、オーストラリア、アメリカ、ボリビア等から留学生を受け入れ、県内大学等で研修した。歴史・平和研修やスポーツ、イベント等を通した交流事業を実施した。

活動指標名	参加者数（累計）と参加国・地域数		R6年度		
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B
	６ヶ国以上	６ヶ国以上	6ヵ国以上	６ヵ国・地域	100.0%

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
来場者が多いJICAのイベントに出展する等、交流機会を増やしたところ、６ヵ国以上・3,000人以上と交流できたため、順調と判定した。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
留学生の本県での研修においては、対面だけでなく、引き続き、オンラインも積極的に活用し安定的なウチナーネットワークの継承・発展に取り組んでいく。	対面だけでなく、オンラインも積極的に活用したことで、安定的なウチナーネットワークの連携強化につながった。

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	世界のウチナーネットワークの人的ネットワークの継承、人材の発掘に取り組む必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	県内の大学や企業向けに、沖縄移民の歴史や世界のウチナーネットワークを紹介する出前講座を実施する。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ア	交流基盤としてのウチナーネットワークの継承・発展	施 策	①国内外のウチナーンチュとの絶え間ない交流
			施策の小項目名	○育成人材等の相互交流、情報発信等
主な取組	次世代ウチナーネットワーク継承基盤構築事業（ウチナーネットワークの多言語情報発信）		対応する成果指標	「世界のウチナーネットワーク」サイトのアクセス数（累計）
施策の方向	・国内外に広がるウチナーネットワークを次世代へ安定的に継承するため、JICA等と連携し、育成人材等を対象とするオンラインを活用した相互交流やWEB・SNS等による情報発信、県系人のルーツ調査をはじめとする歴史継承等を多言語で担うプラットフォームの構築に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
「世界のウチナーネットワーク」サイトの運営およびSNS等での情報発信	県	WEB・SNS等によるウチナーネットワークの多言語情報発信		
		多言語情報の発信数（累計）		
		50件	50件（100件）	50件（150件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課　【　098-866-2479　】	関連URL	―

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	次世代ウチナーネットワーク育成事業※本事業は細事業の１つ		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	委託	71,392	81,243

令和6年度活動内容

「世界のウチナーネットワーク」サイトの運営およびSNS等で情報発信した。

予算事業名	次世代ウチナーネットワーク継承基盤構築事業（ウチナーネットワークコンシェルジュ運営業務）	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	10,329

令和7年度活動計画

「世界のウチナーネットワーク」サイトの運営およびSNS等で情報発信する。

活動指標名	多言語情報の発信数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		「世界のウチナーネットワーク」サイトを運営し、日本語、英語、スペイン語、ポルトガル語の多言語で情報発信した。
	43件	154件（197件）	159件（356件）	50件（150件）	100.0%	順調	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
多言語情報の発信数は目標値50件に対し実績159件と、目標値達成により順調と判断した。また、フォロワー数もFacebookがＲ５：1684→Ｒ６：1773、InstagramがＲ５：1621→Ｒ６：2,237、YouTubeがＲ５：1,210→1,310と増加した。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
他機関の世界のウチナーンチュと関連するイベント情報を、可能な限り多言語で幅広く掲載するとともに、更新頻度を高めることでアクセス数の増に努める。	他機関の世界のウチナーンチュと関連するイベント情報を、幅広く多言語で掲載、情報発信に努めた。

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	「世界のウチナーネットワーク」サイト内が検索しづらい。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	よくある質問リストをサイト内に提示し、閲覧者がスムーズに疑問を解決、またはアクセスできるようにする。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ア	交流基盤としてのウチナーネットワークの継承・発展	施 策	②交流の架け橋となる人づくり
			施策の小項目名	○本県出身移住者子弟等の受入れ、海外派遣による県系人との交流等
主な取組	次世代ウチナーネットワーク継承基盤構築事業（海外県系人子弟留学生の受入）		対応する成果指標	海外留学派遣者数・交流者数（累計）
施策の方向	・本県出身移住者子弟等の県内大学受入れ等により海外県系人社会等と沖縄との架け橋となる人材を育成するとともに、海外派遣による県系人との交流等を通じて国際的な視野を持った人材の育成に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
海外県系子弟等留学生を受け入れ、世界のウチナーネットワークを担う次世代を育成する。	県	海外県系人子弟等の県内大学等への留学受入れによる、県民との交流や生活を通した文化・歴史等の学習		
		受入人数（累計）		
		10人	10人（20人）	10人（30人）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課　【　098-866-2479　】	関連URL	―

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	次世代沖縄ネットワーク育成事業※本事業は細事業の一つ		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	委託	71,392	81,243

令和6年度活動内容

ウチナーンチュ等子弟留学生を10名受け入れ、県内大学や研修機関に留学させた。

予算事業名	次世代ウチナーネットワーク継承基盤構築事業（ウチナーンチュ子弟等留学生受入業務）	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	43,444

令和7年度活動計画

ウチナーンチュ等子弟留学生を10名受け入れ、県内大学や研修機関に留学させる。

活動指標名	受入人数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		フランス、韓国、ペルー、台湾、ブラジル、オーストラリア、ハワイ（アメリカ）、ボリビア、アメリカ本国から留学生を受け入れ、県内大学等で研修した。オンラインも含めた交流事業を実施した。
	7人	10人（17人）	10人（27人）	10人（30人）	100.0%	順調	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
7ヵ国・１地域から留学生を受け入れるとともに、オンラインの活用により、留学生と県内外の若者との日ごろの交流が増えたことで、ネットワークの強化につながったことから、順調と判断した。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
留学生の本県での研修においては、対面だけでなく、オンラインも積極的に活用し安定的なウチナーネットワークの継承・発展に取り組んでいく。	留学生と県内外の若者どうしの交流ではオンラインを積極的に活用したことで人材育成と海外とのネットワーク連携強化につながった。

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	留学生の多くは各国の都市部出身者であり、地方出身者の割合が少ない傾向にあるため、多様な留学生の受け入れ強化に取り組む必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	地方出身者を増やすため、記録した姿を事例として紹介し、都市部の学生にとどまらずより多様な留学生の受け入れにつなげていく。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(2)-ア	交流基盤としてのウチナーネットワークの継承・発展	施 策	②交流の架け橋となる人づくり
			施策の小項目名	○本県出身移住者子弟等の受入れ、海外派遣による県系人との交流等
主な取組	海邦養秀ネットワーク構築事業		対応する成果指標	海外留学派遣者数・交流者数（累計）
施策の方向	・本県出身移住者子弟等の県内大学受入れ等により海外県系人社会等と沖縄との架け橋となる人材を育成するとともに、海外派遣による県系人との交流等を通じて国際的な視野を持った人材の育成に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
沖縄県の若い世代を海外に派遣し、国際感覚に富む人材を育成するとともに、現地の県系人、特に若い世代との交流を通して相互の絆の強化に努める。	県	県内学生を海外県人会宅に派遣し、ホームステイ等を通した交流事業を実施		
		派遣人数（累計）		
		21人	10人（31人）	10人（41人）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課　【　098-866-2479　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	次世代ウチナーネットワーク育成事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	負担	0	0

予算事業名			
R7年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
―	―		

令和6年度活動内容

県単補助金の見直し（終期到来）のため、令和５年度より予算計上なし

令和7年度活動計画

活動指標名	派遣人数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		これまで、ブラジル、アルゼンチン、ペルー、アメリカ、台湾等から留学生を受け入れ、県内大学等で研修を行った。コロナ禍においては、オンラインによる交流事業を実施した。
	20人	0人（21人）	0人（21人）	10人（41人）	0.0%	未着手	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

事業終期の到来により、R5から未実施となっているため、後継事業として、ソフト交付金を活用した事業化に向けて調整している。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
次世代のウチナーネットワーク人材を育成するために必要であり、本県と海外の相互交流としてニーズは高い。関係者の意見等を踏まえ、より効果的かつ持続的な事業スーキムの構築のために、ソフト交付金の活用を検討する。	新規事業として、予算調整を行ったが、国庫財源の配分等の都合により、予算措置が困難となった。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	県単補助金の見直し対象として、令和４年度の終期をもって廃止となったが、後継事業の予算化に向けて、沖縄独自のソフトパワーである「ウチナーネットワーク」を活用した事業展開を検討する必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
② 連携の強化・改善	ウチナーネットワーク人材育成のため、沖縄のアイデンティティや文化が色濃く残る南米地域（ボリビア等）との人材交流を推進する。県人会やJICA等の関係者と連携し、持続的な支援体制の構築を目指す。